



# 県内で流行警報レベル！！ 手足口病

令和6年6月19日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第24週分・6月10日～6月16日)

### 《インフォメーション》

#### ●手足口病

手足口病は、一般に夏季に増加し、例年7月下旬頃(28～30週)に流行のピークを迎える傾向があります。しかし、今年は全国的に5月下旬ごろから増加傾向になっており、例年より流行が早まっています(右図)。

今週の県内の定点医療機関あたりの手足口病の報告数は5.34人となり、流行警報レベルである5.00人を超え、注意が必要です。特に中部厚生センター管内では、定点医療機関あたり13.67人となっています。

手足口病は、コクサッキーウイルス(CA6、CA16)やエンテロウイルス(EV71)など複数のウイルスを原因とする感染症です。患者の年齢は、1歳が半数近くを占め、5歳以下が全体の9割以上となっています。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹がみられます。発熱や食欲不振、のどの痛みなどがみられますが、一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。まれに髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症がみられる場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣(けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。現時点で手足口病のワクチンや抗ウイルス薬はありません。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。症状がなくなった後も、2～4週間は便からウイルスが検出されることがあります。次のことに注意して感染を予防しましょう。

- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石鹸で手を洗う。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- タオル等の消毒には、アルコールは効きにくいいため希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

### 《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 3件 (①30歳代、女性 ②80歳代、女性 ③90歳代、男性)  
 四類感染症 レジオネラ症 1件 (80歳代、男性、肺炎型)  
 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 (90歳代、女性)  
 梅毒 1件 (30歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

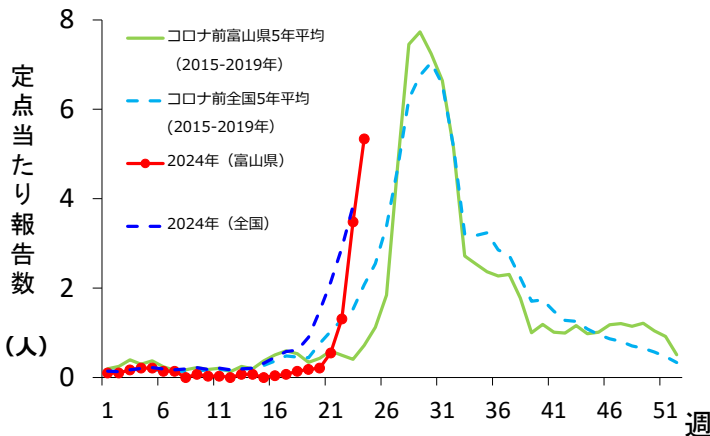
### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	5.34 (↑)	3.48
2位	感染性胃腸炎	4.72 (↓)	6.48
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.34 (↓)	4.97
4位	COVID-19	2.55 (↓)	3.30
5位	咽頭結膜熱	2.00 (↓)	2.07
6位	R Sウイルス感染症	1.45 (↓)	1.79

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました

手足口病患者報告数(全国・富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第24週 令和6年6月10日～令和6年6月16日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1		2	3	6	2	18	4	26	56	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1		1	2	3	2	9	2	14	30	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	1	3	5	
	四類感染症	E型肝炎											1	1	
		レジオネラ症					1	1		1	7	1	14	23	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1	1		2		8	11	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	8	12	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	1	2	5	
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
		水痘（入院例）							1	1				2	
梅毒						1	1			2	3	6	11		
播種性クリプトコックス症											1	1			
百日咳											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（47定点）	インフルエンザ		1	4		5	1,066	1,029	4,034	1,561	5,065	12,755		
		COVID-19	34	10	29	24	23	120	1,245	736	2,280	1,240	2,015	7,516	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		25	6	10	42	23	48	186	33	186	476	
		咽頭結膜熱	3	14	17	2	22	58	75	235	596	33	568	1,507	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	7	62	4	47	126	160	154	2,249	277	1,018	3,858	
		感染性胃腸炎	23	21	19	1	73	137	580	581	1,266	636	2,902	5,965	
		水痘	1		34		4	39	2	11	93	8	45	159	
		手足口病	5	41	27	3	79	155	20	99	68	4	176	367	
		伝染性紅斑	1				1	2	1		6	1	3	11	
		突発性発しん			4	1	6	11	6	9	66	15	61	157	
		ヘルパンギーナ	2		2	1	15	20	52	6	5	6	31	100	
		流行性耳下腺炎		1				1		1	3	2	5	11	
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎		0.33				0.03					2	2
			流行性角結膜炎							8	1	26	5	9	49
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
			マイコプラズマ肺炎									6	1	1	8
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179		
	COVID-19による入院患者	4	2	3	2	9	20	102	102	72	126	334	736		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年5月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		5月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症	1	1			9	11	1	1	4		45	51
		1.00	1.00			2.25	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症					4	4		5	2		31	38
						1.00	0.40						
	尖圭コンジローマ					4	4				2	7	9
						1.00	0.40						
	淋菌感染症									2		6	8
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			1	1	9	11	8	3	11	5	44	71
				1.00	1.00	9.00	2.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	1			1	5	4	1	2		4	11
		3.00	1.00			1.00	1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。